

学校だより

翔 空

No. 33 平成24年12月 4日(火)
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

「翔空」の由来 (校舎のシンボル)

壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え限らない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

【百人一首第1弾】

今回からは、百人一首を紹介いたします。昔から庶民に親しまれてきた百人一首ですが、最近では家族で楽しむ機会は少なくなった様です。手始めに二首紹介したいと思います。

【中国の皇帝に帰国を許され、ようやく日本に戻れることになり、喜びを表現した歌】
天の原 ふりさけ見れば
春日なる
みかさの山に
出でし月かも 安倍仲麻呂 作
(大空をあおぐと、月が出ている。ふるさとの奈良にある、春日の三笠山に出ていた同じ月なのだなあ。)

【京都の宇治で、出家して山で暮らす気持ちを表現した歌】
わか庵は 都のたつみ
しかぞ住む
世をうち山と
人はいふなり 喜撰法師 作
(私の家は、都の東南にあって、このように澄んだ心で住んでいます。なのに、私が世の中をつらいと思って宇治山に隠れていると、人は言っているようなのです。)

注意！) 風邪やノロウィルスが少しずつ流行しています。
うがいと手洗いに気を遣いましょう。



素晴らしい意見が発表されました！

～喜久田町明るいまちづくり少年の主張発表大会～

先日(12月1日)、雪の舞う中、町の最後の行事となる「第17回喜久田地区明るいまちづくり推進大会」が開催されました。

本校からも、発表者、表彰者、参加者を含めるとおよそ20名ほどの参加がありました。当日はまず、事前に選出されていた防犯標語の表彰式が行われました。標語も含め紹介します。

- 最優秀賞 2年2組 干坂 奈々さん
「万引きで 汚すな青春 夢 未来」
- 商工会長賞 3年1組 齋藤 竣輔くん
「知っている? 見られてますよ その行為」
- 防犯指導隊長賞 3年1組 佐藤 綾夏さん
「その勇気 喜久田の町に 花咲かす」

これらの作品は、立派な看板が作製され、地区内のあちこちに立てられます。(町防犯協会長より)

そして、次に「第29回少年の主張発表大会」が行われました。参加者は、以下の通りです。

- 1年 久保木実美さん「決意」
- ※ ひとり他校からの入学式。でも入学してみると。
- 1年 国谷 綾月さん「福島で暮らすなかで思う事」
- ※ 当たり前前の方が当たり前前のできる事の幸せ。
- 2年 影山 万姫さん「家族の絆」
- ※ 父が亡くなったことをきっかけに感じた家族の絆。
- 2年 木村 太星くん「生徒会長となって」
- ※ 生徒会長として福島県で一番の学校づくりを!
- 3年 齋藤 竣輔くん「これからの日本」
- ※ 昨今のニュースなどから感じる日本の将来。
- 3年 佐藤 綾夏さん「今の私から一未来の父と母へ」
- ※ 「ありがとう」の一言がなかなか言えずに・・・。

審査の結果、最優秀賞には3年生の佐藤綾夏さんが選ばれました。本当に感動的ななかみの意見発表でした。他の生徒もみんな聞く者に思いがひしひしと伝わってくるような立派な発表を行ってくれました。

また、発表こそできませんでしたが、入賞者として、以下の生徒が表彰を受けました。

- 1年 原田 愛加さん 「家族の健康」
- 1年 遠藤 舞 さん 「伝えたいこと」
- 2年 高橋 由吏さん 「自然を守るために」
- 2年 水野 祥平くん 「二年三組の『証』」
- 3年 伊東 優美さん 「税を納めるということ」
- 3年 佐久間耐綺くん 「障がい者の方との関わりや体験で感じ学んだことこれからの私たちにできること」



なお、当日、午後1時から、夏休み期間中に本校の代表として、「広島・長崎派遣」に参加した2年生の田牧 龍くんと渡邊 桃香さんのパワーポイントを用いたすばらしい発表を聞くことができました。堂々とした発表であったことがとても印象的でした。二人ともご苦労様でした。